

(概要版)

貝塚市地域省エネルギービジョン

(重点テーマに係る詳細ビジョン)

～ 環境学習と市施設の省エネルギー化 ～



平成21年2月

貝塚市

1. 事業経緯・目的

本市は、平成 20 年 2 月に「貝塚市地域省エネルギービジョン」（初期ビジョン）を策定し、市域全体のエネルギー消費総量を平成 27 年度に平成 17 年度値の 3%減（CO2 換算で 4%減）とする目標、及び市民・事業者・行政の省エネルギーの取り組み等を設定しました。

重点テーマに係る詳細ビジョン（本ビジョン）では、「小学校区での環境教育の推進」、「市施設の省エネルギー改修の推進」を重点的な事業としました。「小学校区での環境教育の推進」では、市全体で環境に対する負荷の抑制を進めるため、小学校への環境学習導入計画の検討・策定を行いました。「市施設の省エネルギー改修の推進」では、市施設の省エネルギー化を具体的に進めるため、対象施設の省エネ手法及び ESCO 事業化の調査・検討を行いました。

平成 20 年度貝塚市地域省エネルギービジョン (重点テーマに係る詳細ビジョン)での検討内容

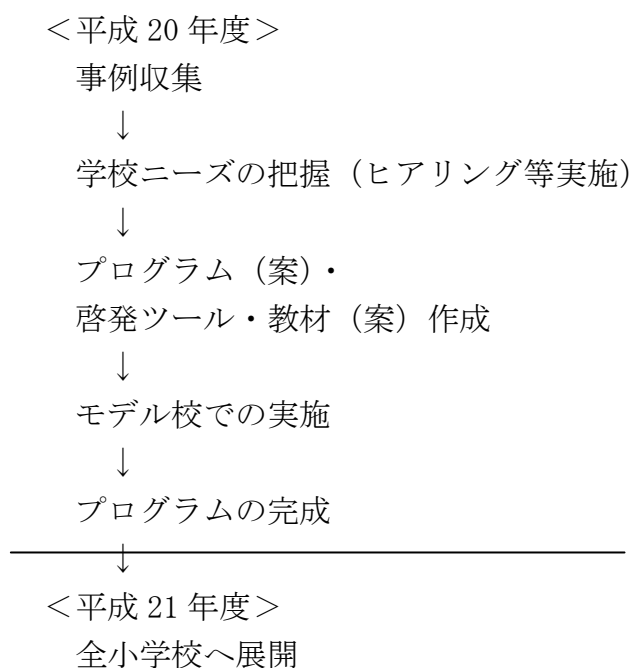
- ① 小学校への環境学習の導入
 - ・ 本市において導入可能な環境学習の検討
 - ・ 上記結果から事業化への計画策定
 - ・ 環境学習の推進体制及びフォローアップ体制の検討
- ② 市施設の省エネルギー化
 - ・ ESCO 事業も含めた省エネルギー可能性調査の実施及び改修対象施設の検討
 - ・ 上記結果から事業化への計画策定
 - ・ ESCO 事業等の今後の推進体制及びフォローアップ体制の検討

2. 小学校への環境学習

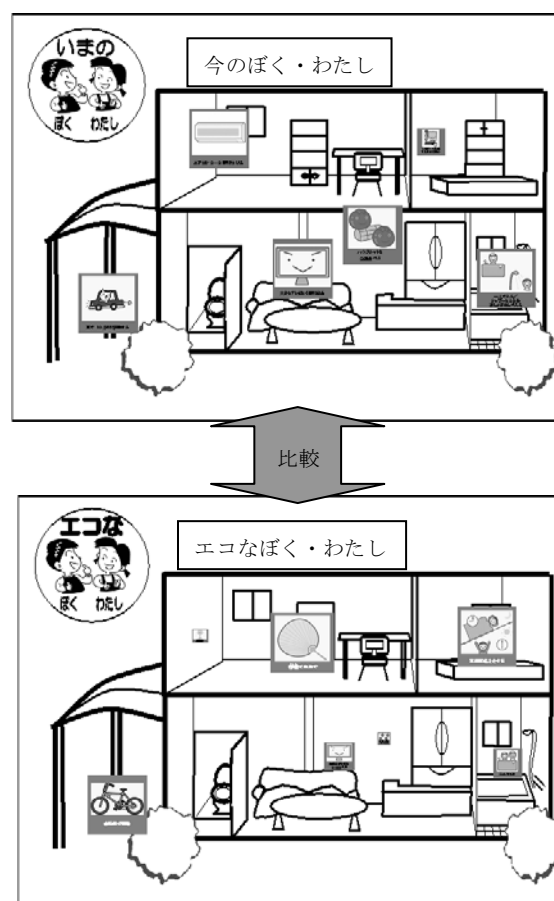
(地球温暖化防止と省エネルギー学習プログラム)の導入

現在まで各小学校において、自然環境保全やリサイクル活動等幅広い環境学習を実施しています。本ビジョンではこれらの学習の中から「地球温暖化防止と省エネルギー」の分野において、子供たちの行動につながりやすく、各学校の実情に合わせた展開が図れるプログラム等を作成することとしました。

総合学習で「環境」をテーマに取り上げている小学4年生を対象に、「地球温暖化防止と省エネルギー」に関する授業を導入します。平成20年度に試行的にモデル校で実施した内容をもとに、「プログラム」と「啓発ツール・教材」の作成を行い、平成21年度以降に全小学校へ展開し、家庭における取り組みへと発展させます。



プログラム用ツール例



「今のぼく・わたし」と「エコなぼく・わたし」を比較。
シールの大きさがCO2の排出量が分かります。

3. 市施設の省エネルギー化

市 11 施設について、省エネルギー化に向けた ESCO 可能性調査を実施し、その調査結果をもとに各施設の省エネルギー化を進めることとしました。

・ 市民福祉センター

市施設全体のエネルギー使用量に占める割合は少ないが、エネルギー削減率は他の施設より高く試算されました。また、市民の利用頻度が高い施設での省エネルギー対策は、波及効果の点でも有効であることから、ギャランティード ESCO 方式による省エネ改修を図ります。

・ 市民図書館・浜手地区公民館

比較的エネルギー削減率が高いことから、市民福祉センターでの省エネルギー改修の成果を参考にしつつ、省エネ改修に向けて検討します。

・ その他の施設

ESCO 方式による改修は困難なことから、設備更新時期にあわせて省エネルギー技術のさらなる開発動向を見極めながら、それぞれの施設に適した省エネ改修に向けて検討します。

～市施設の省エネ改修の推進体制～

市民福祉センターについては、平成 21 年度に事業者選定の委員会を設置し、平成 22 年度から ESCO 方式による省エネ改修を図ります。

他の施設については、「貝塚市省エネルギー推進委員会」において、省エネルギー化に向けた検討をします。

※ESCO(Energy Service Company)事業とは

民間事業者が企業活動として顧客(市)に包括的な省エネルギーサービスを提供する事業。顧客が事業資金を調達する方式をギャランティード方式という。